

官のコストを把握する際の基本的な考え方について

1．コスト把握の必要性

- ・対象事業について過去の実績を把握する。
- ・入札参加者の創意工夫及び経費削減の検討機会を付与する。
- ・事業規模を開示して入札参加の判断に資する。

2．コスト把握に際する問題点

- ・対象事業ごとのコスト把握がされていない
- ・間接部門費の把握がされていない。

3．計上すべきコスト

- ・対象事業において過去に発生したコスト
- ・減価償却費、退職給付費用、間接部門費を含むコスト

4．コスト算定の方法

- ・推計することを含めて対象事業別にコストを把握する。
- ・減価償却費、退職給付費用については、行政コスト計算書を作成している等により既存のデータがある場合には、そのデータを用いて推計する。
- ・組織図を用いて間接部門を確定した上で間接部門費を算定する。